可燃ごみの広域処理に向けた協議書の締結

KOBE × 芦屋市 Ashiya City

神戸市の可燃ごみの処理ネットワーク

KOBE × 芦屋市 Ashiya City

竣工年｜1995年
設備能力｜600t/24時間

竣工年｜2017年
設備能力｜600t/24時間

竣工年｜2000年
設備能力｜900t/24時間

神戸市・芦屋市の広域処理

KOBE × 芦屋市 Ashiya City

概　要

芦屋市より可燃ごみの広域処理業務を受託（地方自治法第252条の14）

・芦屋市域で発生する可燃ごみを神戸市で焼却
　➡ 神戸市で最も発電効率の高い港島クリーンセンターで主に受け入れ

・芦屋市のごみ処理経費は芦屋市が負担

時　期

2030年度以降～　広域処理開始

広域処理の流れ

KOBE × 芦屋市 Ashiya City

芦屋市

中継施設(芦屋市内)に集積、
大型車両に積み替え

大型車両で神戸市の
焼却施設に運搬

神戸市

神戸市内の
焼却施設で焼却処理

埋立処分場（フェニックス）
に焼却灰を運搬

広域処理の意義

KOBE × 芦屋市 Ashiya City

圏域全体にとって

大規模で高効率な
焼却施設での処理により

○ より多くの［CO２フリー電力］を供給することが可能
➡ 温室効果ガスの排出を削減

○ 新たな焼却施設の整備が不要
➡ 整備費用にかかる国の財政支出の削減にも貢献

両市にとって

芦屋市｜施設整備費の削減・新資源化施設の充実

神戸市｜既存施設（ストック）の有効活用、ごみ発電に伴う収入増

神戸市と芦屋市で連携し、

圏域全体の脱炭素・環境負荷軽減に努め、

持続可能なまちづくりに取り組みます

憧れを、日常に。

芦屋市

© 芦屋市 2025

芦屋市のこれまで

稼働から30年弱の施設、**建て替えの時期**

▼

西宮市との広域処理が不成立に（2021年）

▼

現地建て替えによる**芦屋市での単独整備**
（約90t/日規模）を計画し、準備

© 芦屋市 2025

神戸市への協議申し入れ（2023年）

1. ごみの減量化及び再資源化の連携
2. **一般廃棄物処理施設の連携**
3. その他、環境施策の連携

© 芦屋市 2025

1 環境にやさしいまちづくり

2 人口減少社会のインフラ整備

3 建設費高騰時代の費用対効果

© 芦屋市 2025

① 環境にやさしいまちづくり

② 人口減少社会のインフラ整備

③ 建設費高騰時代の費用対効果

© 芦屋市 2025

1

住宅都市の芦屋市。

環境にやさしいまちづくりに

ごみ対策は欠かせません

© 芦屋市 2025

一般廃棄物によるCO2排出はなかなか減らず

芦屋市における二酸化炭素排出量の内訳[t-CO2]（2013年度⇨2020年度）

出典：株式会社E-konzal（2024）地域E-CO2ライブラリーVer5.1
芦屋市のエネルギー起源二酸化炭素排出量およびエネルギー消費量（2020年度）

© 芦屋市 2025

指定ごみ袋導入によって、ごみ量は減少

市民1人1日あたりの家庭系ごみ排出量（2023年10月の導入前後1年の比較）

© 芦屋市 2025

ごみ処理の効率を上げる

大規模なごみ処理によって、
高効率なエネルギー回収が
実現できる

© 芦屋市 2025

大規模焼却で発電効率が上昇、外部供給倍増

芦屋市のごみ量焼却によって外部供給できる電力量(世帯分の年間消費電力量)

© 芦屋市 2025

1 環境にやさしいまちづくり

2 人口減少社会のインフラ整備

3 建設費高騰時代の費用対効果

© 芦屋市 2025

2

人口減少社会。

数十年後のニーズに基づく

インフラ整備をしたい

© 芦屋市 2025

人口減少が進む中、ごみ量減少も見込まれる

人口・高齢化率将来推計（人）

出典：「芦屋市人口推計結果（令和６年度）」芦屋市（2024）

© 芦屋市 2025

人口減少を見越した施設整備を

新設するなら現状の処理量で
設計する必要があるから、
複数の焼却施設を効率的に
運用している神戸市と協働

© 芦屋市 2025

1 環境にやさしいまちづくり

2 人口減少社会のインフラ整備

3 建設費高騰時代の費用対効果

© 芦屋市 2025

3

建設費高騰時代。

一般廃棄物処理の

費用はできるだけ抑えたい

© 芦屋市 2025

直近の物価状況の試算でも、4割の支出抑制

芦屋市ごみ処理施設関係費の比較（円）

© 芦屋市 2025

焼却炉の建設費用はスケールメリットが働く

1tあたりの焼却炉の建設費用（芦屋市・神戸市それぞれの想定容量に基づく）

© 芦屋市 2025

1 環境にやさしいまちづくり

2 人口減少社会のインフラ整備

3 建設費高騰時代の費用対効果

© 芦屋市 2025

今後のスケジュール

芦屋市

- **中継施設・資源化施設**の整備
- **プラスチック分別**の実施

神戸市連携

- **ごみ減量・資源化**施策で連携

▶ 令和12年度以降に可燃ごみ広域処理開始

© 芦屋市 2025